

# 社会資本総合整備計画書 (愛知県豊田市)

平成30年3月(当初)  
令和2年2月(第1回変更)

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (市街地整備)

平成 年 月 日

計画の名称	安全で災害に強いまちづくり② (防災・安全)			重点配分対象の該当	-
計画の期間	平成30年度 ~ 令和2年度 (3年間)	交付対象	豊田市		
計画の目標					

本市は、愛知県のおお中央から北東にかけて位置し、北は岐阜県・長野県に接し、長野県に源を發する矢作川が市域の中央を南北に縦断している。また、市町村合併 (平成17年度、1市6町村) に伴い、面積は約900km<sup>2</sup>と愛知県全体の約2割を占め、地域形態も市街地から農山村集落まで様々な形態を有している。このため各地域で想定される被害内容も様々であり、あらゆる災害に対応可能な市域全体の防災機能の向上が急務となっている。また、本市は、東海地震に関する地震防災対策強化地域及び南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されており、これまでも各種地震対策を実施してきたが、平成24年3月、内閣府設置の「南海トラフの巨大地震モデル検討会」が発表した市町村別の最大震度が、従来の6弱から6強に引き上げられたことから、さらなる地震対策の実施が急務となっている。本計画では、多くの避難者を受容する避難所や防災拠点施設等における防災機能、自立機能の強化などを進め、本市の都市防災基盤の一体的な整備を目指す。

計画の成果目標 (定量的指標)

- ・避難所等における災害用便槽の整備率を62%から75%へ拡大
- ・愛知県営水道地震防災対策実施計画に基づき指定される県営水道災害時支援施設 (応急給水支援設備) 整備率を70%から100%へ拡大

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考								
	当初現況値	中間目標値	最終目標値									
	(H30当初)	(R1末)	(R2末)									
災害用便槽の整備率 災害用便槽が整備されている施設数 / 全施設数 ※施設: 避難所等	62%	70%	75%									
応急給水支援設備の整備率 応急給水支援設備が整備されている施設数 / 全施設数 ※施設: 避難所等	70%	100%	100%									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	87.0 百万円	A	77.4 百万円	B	-	C	9.6 百万円	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	11.3%

交付対象事業

A1 都市防災															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)			全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画	備考
									H30	R1	R2				
A13-001	都市防災	一般	豊田市	直接	豊田市	都市防災総合推進事業 (防災まちづくり拠点施設整備)	マンホールトイレ及び防災備蓄庫の整備 15か所	豊田市				39.6	H30 12,000千円 H31 10,600千円 H32 17,000千円		
A13-002	都市防災	一般	豊田市	直接	豊田市	都市防災総合推進事業 (防災まちづくり拠点施設整備)	県営水道応急給水支援設備の整備 4か所	豊田市				37.8			
小計 (都市防災・市街地整備)											77.4	H30 30,800千円 H32 7,000千円			

C 効果促進事業													
C1 都市防災													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)			全体事業費 (百万円)	備考
									H30	R1	R2		
C13-001	施設整備	一般	豊田市	直接	豊田市	防災施設整備	仮設トイレ及びテントの購入整備 15か所	豊田市				8.2	H30 3,000千円 H31 2,800千円 H32 2,400千円
C13-002	施設整備	一般	豊田市	直接	豊田市	防災施設整備	応急給水器具の購入整備 (給水スタンド、接続ホース、格納庫) 4か所	豊田市				1.4	H30 1,200千円 H32 200千円
小計											9.6		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考	
C13-001	都市防災推進事業1-A-1との一体的な整備により、災害時における衛生環境の確保及び避難者の健康管理を維持できる。												
C13-002	都市防災推進事業1-A-2との一体的な整備により、災害時における飲料水及び生活用水の給水に係る非常用水源を確保できる。												

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)			全体事業費 (百万円)	備考
									H30	R1	R2		
合計											...		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考	

交付金の執行状況

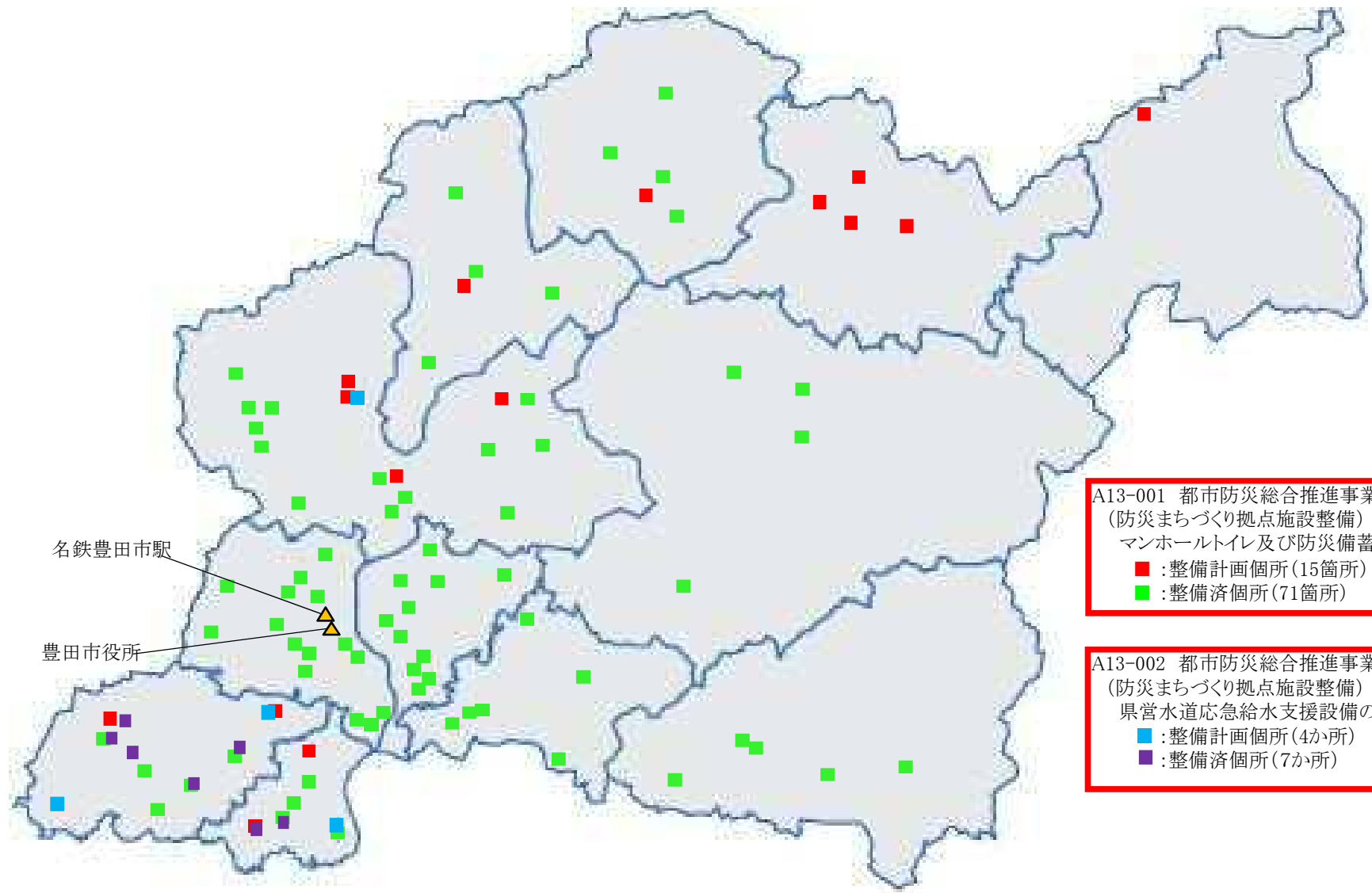
(単位：百万円)

	H30	R1	R2
配分額 (a)	23.5	6.7	13.3
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	0.0	0.0
交付額 (c=a+b)	23.5	6.7	13.3
前年度からの繰越額 (d)	0.0	0.0	0.0
支払済額 (e)	23.5	6.7	6.7
翌年度繰越額 (f)	0.0	0.0	0.0
うち未契約繰越額 (g)	0.0	0.0	0.0
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由			

(参考様式3) 参考図面 (市街地整備)

計画の名称	安全で災害に強いまちづくり② (防災・安全)		
計画の期間	平成30年度 ~ 令和2年度 (3年間)	交付対象	豊田市

# 豊田市



名鉄豊田市駅

豊田市役所

A13-001 都市防災総合推進事業 H30~R2  
(防災まちづくり拠点施設整備)  
マンホールトイレ及び防災備蓄庫の整備  
■ : 整備計画箇所(15箇所)  
■ : 整備済箇所(71箇所)

A13-002 都市防災総合推進事業 H30、R2  
(防災まちづくり拠点施設整備)  
県営水道応急給水支援設備の整備  
■ : 整備計画箇所(4か所)  
■ : 整備済箇所(7か所)